

一般質問通告書

令和7年第4回定例会において、下記の事項について一般質問を行いたいのので、会議規則第62条第2項により、通告します。

令和7年11月14日

議員氏名 伊藤 久恵
会派名 幸福実現党



海津市議会議長 様
受領番号 第 4 号

受領日時 令和7年 11月 14日 13:20

要 旨

- 1、人間ドックについて
- 2、都市計画道路について

質問相手 市 長



質 問 内 容

1、人間ドックについて

健康で自分らしく生き生きと笑顔で過ごしたい。これは誰もが願うことであります。また、自らの健康は自らづくり、自ら守るものと言われているように、毎年自身の健康チェックを欠かさないことが何より重要であります。それには定期的に健診を受けることが大切であり、そのひとつの手段である人間ドックは、日ごろ自身の体調に気がつかない異変や、疑わしい箇所がないか検査を受けることが可能です。ここで本市より海津市医師会病院へ委託されている人間ドックについて伺います。

1、まず、基本検査項目の中の、胃カメラ検査について伺います。令和7年度より補助対象年齢が変更になりました。70歳以上の方の自己負担額は、50歳から69歳までの方と比較すると、約15,000円程度の増額になっています。同じ内容の検査を受けるのに、年齢による自己負担額に相違があります。

ここで質問させていただきます。

検査費用の自己負担割合をどのように考えておられるのか、お伺いします。
また、自己負担額は平等であるべきだと思いますが、いかがでしょうか。

2、次に基本検査項目のほか、オプション検査を追加して受診できるようになっています。このオプション検査では、9項目が、市の補助対象となっています。

そのうちの「頭部MRI検査」と「骨密度測定」の2項目について伺います。

この2項目は、令和3年度より補助対象となるのが隔年となっております。それ故に、前年度検査を受けられた方は、今年も続けて検査を受けるには実費負担となってしまいます。

補助対象が隔年になったことで、毎年、人間ドックの受診をされ自分の健康チェックを行っていた方が、自己負担額が変動したことにより、結果として、人間ドックの受診意欲の低下を招くことになるのではないかと思います。

ここで質問させていただきます。

補助対象が隔年になってから5年が経過しますが、何故、隔年の補助になったのでしょうか。また、健康診断の受診について、市はどのような成果目標を掲げているのかお伺いします。

2、都市計画道路について

愛知県と海津市が橋でつながったのが、昭和44年に建設された東海大橋です。その頃の東海大橋の通行は有料でした。

その後、昭和58年揖斐川に油島大橋が架かり、翌年木曽川に立田大橋、そして昭和62年には長良川に長良川大橋が完成しました。この木曽川、長良川、揖斐川に架かる3つの橋は、愛知県、岐阜県、三重県の東海3県をつなぐ結節点に位置しているため、その3つの橋の完成とともに、国営「木曽三川公園」の開園も相まって、海津市、特に海津町南部は車の流入出が一気に加速し、多くの人が訪れる場所となり目まぐるしい発展をしてまいりました。

木曽三川公園には濃尾平野を一望できる展望タワーをシンボルとして、春はチューリップ祭り、冬は光り輝くイルミネーション、季節ごとの花が咲きほこり、多くの子ども達が遊具で元気に遊ぶ姿が見受けられます。また、輪中での暮らしの学習や、芝生広場での運動など、小・中学生の社会見学、また、マルシェ等のさまざまなイベントなどが開催されています。

多くの方の来場に伴って、橋周辺や堤防道路においては車の大渋滞が発生しております。平日でも、橋の周辺は、日常的に交通渋滞が発生しています。

今年6月の定例県議会において、森県議会議員がされた（仮称）愛津大橋に関する一般質問に対し、県からは、河川管理者である国との協議を行い、昨年6月に（仮称）愛津大橋の架橋位置が決定し、この（仮称）愛津大橋を含めた道路について、愛知県と歩調を合わせ今年度末に都市計画決定がなされるよう、岐阜県と海津市が連携して進めていくとの答弁がありました。これを受け、橋や接続する道路についての都市計画説明会が6月と9月に開催されました。いよいよ（仮称）愛津大橋の新架橋建設に向けた具体的な動きがはじまり、海津市マスタープランの表紙に描かれている虹色の橋、仮称「愛津大橋」がいよいよ現実のものとなってまいりました。

しかし市民の中には、

「人口が減少しているのに橋が必要なのか」

「安江日原線は西側に山があり、行き止まりのように感じる」

といったご意見もあります。

私は、これまでも申し上げておりますように、名古屋駅北の亀島交差点から西へ進むと、まっすぐこの愛津大橋に至り、海津市へと入ります。

その先には海津温泉「宙舟の湯」やアクアパーク、長良川サービスセンター木曽三川公園など、観光拠点となる資源が数多くあります。

さらに揖斐川に架かる海津橋を渡ると、国道258号線に接続します。そして南濃町南部には、養老山麓に広がるミカン畑から濃尾平野を一望できるロケーション、盤若谷や南濃中学校跡地などがあり、地域の活用余地は非常に大きいと感じております。

そこで質問させていただきます。

1. （仮称）愛津大橋について

（仮称）愛津大橋の建設に向けた取り組みの経緯と、わかる範囲での今後の予定について伺います。

2. 安江日原線について

この道路のルートを設定するにあたっては、こういったことを配慮して検討されているか、伺います。

3. （仮称）愛津大橋及び安江日原線の整備効果について

（仮称）愛津大橋そして安江日原線の整備は、どのような目的・効果を見据えて進められるか、伺います。